

栃木労働局及び宇都宮・真岡労働基準監督署幹部による

全国安全週間パトロールを実施しました

去る7月1日、全国安全週間にあたり事業者と働く人たちに安全活動の重要性を訴えと共に、自主的な安全活動に取り組むことを呼びかけるため、栃木労働局幹部及び宇都宮・真岡労基署両幹部による合同安全パトロールを実施しました。

今回のパトロールは、芳賀町のホンダエンジニアリング（株）と宇都宮市の（株）クボタ宇都宮工場において実施しました。

ホンダエンジニアリング（株）は、堀江局長及び高橋真岡署長が、（株）クボタ宇都宮工場は小野里労働基準部長及び小林宇都宮署長がそれぞれ工場内のパトロールを行い、安全管理の状況を視察しました。

また、ホンダエンジニアリング（株）の安全パトロールでは、工場内の安全パトロールのあと、高橋真岡署長によりパトロール結果の講評において、安全措置の徹底を説明し、堀江局長からは、ホンダエンジニアリング（株）社員全員に対して災害事例をもとにした労働災害防止及びリスク低減による自主的安全活動の充実等について安全講話を行いました。



ホンダエンジニアリング（株）においてパトロール（写真左）及び安全講話（写真右）を行う堀江局長

（株）クボタ宇都宮工場では、工場内に設けられた安全体験施設の視察の後、工場内製造ラインをパトロールし、作業における危険の防止措置等について説明を受け、パトロール後の講評で、小野里部長より安全衛生管理の的確な継承とリスクアセスメントによる危険の排除の説明、並びに小林宇都宮署長からは、宇都宮署で主唱している安全文化の構築に向けた、自主的安全衛生活動の充実による労働災害防止の取組みについて説明を行った。



(株)クボタ宇都宮工場においてパトロール（写真左）及び工場幹部に対して講評（写真右）を行う小野里労働基準部長